

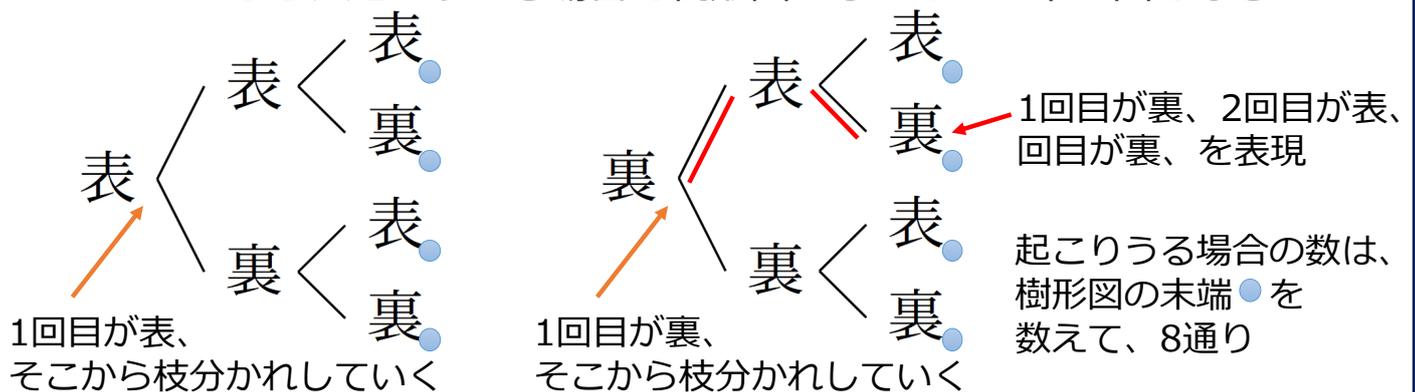
樹形図

起こりうる場合の数

- ・ 確率は**起こりうる場合の数**と**ことがらが起こる場合の数**を、**抜け漏れや重複なく数える**必要がある
- ・ この起こりうるすべての場合を整理して表す場合に**樹形図**が有効である。 「木」はグラフの種類の一つ

<例>

表と裏の出方が同様に確からしいコインを3回投げる
このとき、起こりうる場合を樹形図にしたものが下の図となる



<確認問題>

次の確率を求めよ。

(1) コインを2回投げて表が1回出る確率

(3) さいころを2回投げて

出た目の和が8である確率

(2) さいころを2回投げて

出た目の和が10である確率

(4) 赤玉が2個、白玉が3個入っている

袋から同時に2個の玉を取り出すとき、赤玉を2個取り出す確率

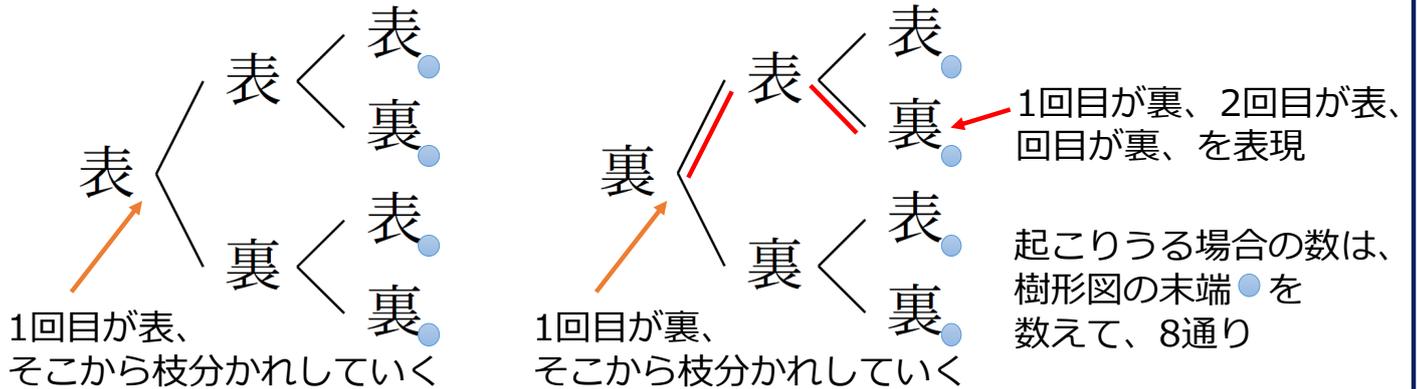
樹形図

起こりうる場合の数

- ・ 確率は**起こりうる場合の数**と**ことがらが起こる場合の数**を、**抜け漏れや重複なく数える**必要がある
- ・ この起こりうるすべての場合を整理して表す場合に**樹形図**が有効である。「木」はグラフの種類の一つ

<例>

表と裏の出方が同様に確からしいコインを3回投げる
このとき、起こりうる場合を樹形図にしたものが下の図となる



<確認問題>

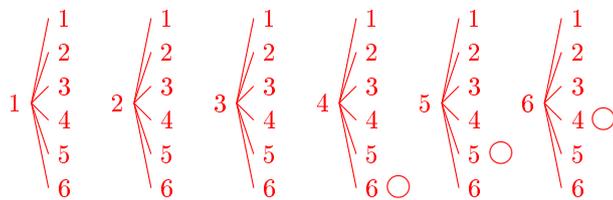
次の確率を求めよ。

(1) コインを2回投げて表が1回出る確率



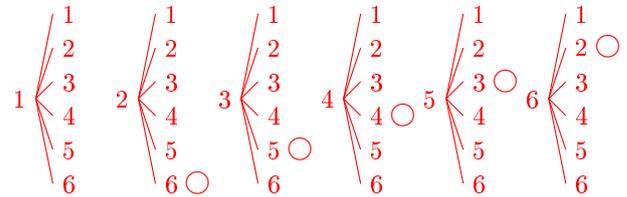
樹形図より確率は $\frac{2}{4} = \frac{1}{2}$
 $\frac{1}{4}$

(2) さいころを2回投げて
出た目の和が10である確率



樹形図より確率は $\frac{3}{36} = \frac{1}{12}$
 $\frac{1}{12}$

(3) さいころを2回投げて
出た目の和が8である確率



樹形図より確率は $\frac{5}{36}$
 $\frac{5}{36}$

(4) 赤玉が2個、白玉が3個入っている
袋から同時に2個の玉を取り出すとき、
赤玉を2個取り出す確率



樹形図より確率は $\frac{1}{10}$
 $\frac{1}{10}$